

三 結 通 信

旬話

世の中や社内で見つけた旬の話題を取り上げていきます。

今回は三油商会の沿革を水谷鎮夫会長がお話しくさいます。

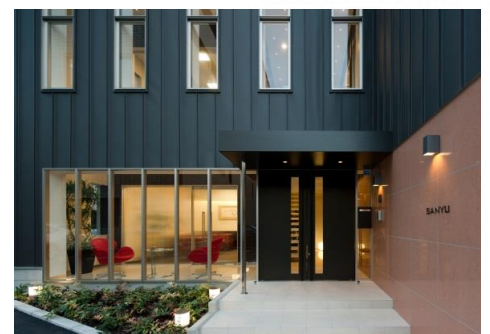
大正から昭和の時代、当社は西区で「水谷鉄工」として鉄製品の製造加工を営んでおりました。大正末期大不況の際、鉄工業からの事業転換を模索中、石油製品・機械油を仕入れておりました三井物産より石油部門(ガソリン部門)開設の情報を頂き、「これからは自動車の時代だ!」と先々代会長が判断、専属代理店として昭和3年(1928年)名古屋・柳橋の三井物産名古屋支社1階に今の三油商会の前身「合資会社ゼネラル揮発油販売所」(写真①は配給所)ができました。第二次世界大戦末期、石油製品は国の統制下となり、終戦直後昭和20年財閥解体により三井物産も解体。その分社の一つがゼネラル物産(株)となり、当社も特約販売店となり2000年までガソリンスタンド中心に石油販売業を進めてきました。当社の社名の「三油」は「三井」の「三」を頂いています。【後編に続く】



【写真①】



【前 丸の内本社】



【現 丸の内本社】

きらり言葉の葉

言葉は時に人を傷つけ、時に励ます目に見えない道具です。
みなさんの生活の中でキラリと役立つ、勇気づける言葉を紹介しします。

「顧客満足」 ～第70期スローガン～

株式会社三油商会 代表取締役社長 水谷 榮作

全従業員がやりがいの持てる感度の高い職場環境を作る。

それにより全てのお客様に対し、もてなす気持ちが持て、考え・行動する事によりお客様の満足感へと継ががる。

よく「感度」というキーワードが使われます。時に「気配り」であり、時に「危機察知力」であり、「品格」であり。

その状況に合わせて含む意味は変わります。

それこそ「感度」良く私たちがその意味を察知し店に、業務に、言葉に表現することが「三油で働く」ということです。

その表現(働き)はお客様を必ず満足させ、その幸せな姿、笑顔、「また来るよ、ありがとう」の言葉は私たちが幸せにします。

感度を高く取り組むことが、実は自分の幸せにつながっているのではないのでしょうか。



生きる資産

「人材＝人財(産)」と言われて久しいですが、当社ではそれどころか「会社の資産」です。会社が人をつくるのではなく、人の集合体が会社。三油を構成している「資産」を紹介していきます。

佐野 美代子 (41歳) 所属:総務部

自分の芯: 人とのご縁 ‘偶然の出会いを逃さず必然にする’
カエル 他みどり色で気持ち悪いほど◎

「お一つかれさまで一す、本社の佐野です!」と受話器からあふれる声の電話を店舗で受けられた方も多いのではないのでしょうか。

本社総務を一手にうけおって20年! 勤続年数No.2の佐野さんです。

本社がいつまでもピッカピカなのは冬でも汗だくで磨いて下さる佐野さんのおかげ★

「2028年三油の100周年を見届ける!」と男前に気合い入れて働かれています。

一瞬の出会いを大きな目で見逃さず、三油人を気分よく繋ぎ留めてるのは佐野さんパワーです。

【番宣告知】アフラック生命保険の代理店業務担当! お考えの方はお気軽にご相談を。

